

2025年度 幼稚園教育アンケート（園児用）結果と考察

認定こども園 奈良カトリック幼稚園

- 1) 目的： 子どもたちの幼稚園生活をより楽しく、いきいきとするために、子ども自身の園生活での感想をたずね、その願いや思いを把握して、今後の保育活動の資とするため。
- 2) 対象： 在園児 136名
- 3) 実施方法： 12月15日配布 12月18日集約 無記名
- 4) 回答者： 92名
- 5) 回答率： 68%
- 6) 考察：

NO. 1 ようちえんはたのしい

- | | |
|------------|-----|
| A（そうおもう） | 87名 |
| B（そうおもわない） | 3名 |
| C（わからない） | 2名 |
| D（無記入） | 0名 |

- ほとんどの子どもが、楽しいと答えています。毎日元気に登園して来ている姿が見えてきます。毎朝目が覚めて、今日も幼稚園に早く行きたいと、すべての子どもたちが思えるような幼稚園になるようこれからも努めていきます。

NO. 2 まいにちじぶんからあいさつをしている

- | | | | |
|-------|-------|------|------|
| A 52名 | B 32名 | C 8名 | D 0名 |
|-------|-------|------|------|

- 一日の始まりは、挨拶にあることを踏まえて、気持ちよく、互いに挨拶が交わせる環境をつくっていきます。

NO. 3 おしごとや、おともだちとするかつどうはたのしい

- | | | | |
|-------|------|------|------|
| A 89名 | B 3名 | C 0名 | D 0名 |
|-------|------|------|------|

- モンテッソーリ教育の基本である、おしごと（自主活動）や、年齢別一斉（横割）活動が子どもたちの毎日の園生活の中心であることから、楽しくないと答えている子どもたちが5名いることに重視し、すべての子どもの満足度を高められるよう、保育内容の在り方などの構築を含めて、更に研鑽を続けていきます。

NO. 4 おそとあそびはたのしい

- | | | | |
|-------|------|------|------|
| A 90名 | B 2名 | C 0名 | D 0名 |
|-------|------|------|------|

- 回答してくれたすべての子どもが楽しいと答えてくれ、回答から健全な子どもらしい姿が見えてきます。幼児期にしっかりと体づくりができ、そこから様々な運動へつなげていけるよう環境を整えていきます。

NO. 5 おへやのせんせいにじぶんからはなしをしにいく

A 72名 B 10名 C 10名 D 0名

- 保育者と子どもの関係は、クラスに何人いようと常に、1対1のふれあいであるべきことを常に心に留め、毎日すべての子どもと会話することによって、新しい発見があるよう努力していき、そこから信頼関係を築けるようにしていくとともに、また子どもから話してもらえるような雰囲気づくりを心がけていきます。

NO. 6 えいごのじかんはたのしい

A 80名 B 4名 C 8名 D 0名

- 外国人講師であるマーカス先生は、幼児教育に精通しておられ、毎回さまざまな工夫を凝らして、子どもたちの関心を高める努力をしてくださっています。年少さんには、まだ楽しいと思えるところまでは無理かもしれませんが、毎週1回の英語とのふれあいを通して、外国文化に少しでも慣れ親しんでもらえるようにしていきます。

NO. 7 たいいくのじかんはたのしい

A 86名 B 3名 C 3名 D 0名

- モンテッソーリ体育講師に依頼して、週1回の体育活動を実施していますが、中には体を動かすことが得意でない子どもがいますので、そこはよく配慮して、一人ひとりが身体を動かすことが、楽しいと思えるように、更なる内容の充実を図っていきます。

NO. 8 あずかりほいく（エンゼル）はたのしい

A 86名 B 4名 C 2名 D 0名

- 年々参加人数が増え、それに係る職員の配置も増員していますが、まだまだ行き届いていないところもあるかと思えます。全員が楽しめる環境づくり、遊び道具の見直しを定期的に行い、家庭的な雰囲気の中で丁寧に、これからも一人ひとりとかかわりを大切にしていきます。

NO. 9 いのちのたいせつさや、ようちえんのきまりについて、せんせいからおはなしをきいている

A 85名 B 7名 C 0名 D 0名

- カトリック園の精神的中核である、神を愛し、自分を愛し、他人を愛することを学び、日常的な保育活動の中で、一緒に考え、人権感覚を身につけていけるよう努めていきます。

NO. 10 おともだちにじぶんのことをおはなししたり、おともだちのおはなしをきいたりしてあそんでいる。

A 84名 B 8名 C 0名 D 0名

- 異年齢クラス編成である本園の子どもたちは、言いたいことをはっきりと言い、相手の話しにも耳を傾ける習慣を身につける経験が、自然とできるようになっています。将来必ず求められるコミュニケーション能力を高める工夫を幼児期から援助していきます。

NO. 11 うんどうかいやはっぴょうかいはたのしかった

A 90名 B 2名 C 0名 D 0名

- 園生活の中で、さまざまな行事があり、これらの行事を通して、日常生活では見られなかった子どもの姿などの新しい発見や育ちがありました。今後更に内容の工夫に努めていきます。

NO. 12 えんそくや、Aぐみのなつキャンプはたのしかった

A 90名 B 10名 C 2名 D 0名

- 今年度も感染防止対策で、十分な体験を行うことができませんでしたが、これからも内容の変更や工夫をし、できる限り新しい生活様式で今できることを実践していきたいと思えます。

NO. 13 おあつまりのじかんは、せんせいのおはなしをしずかによくしている

A 87名 B 3名 C 2名 D 0名

- 一日の終わりのホームルームの時間は、特に大切な時間であることを子どもたちにも十分理解してもらえよう、丁寧な指導と楽しい時間となる工夫を心がけていきます。

NO. 14 てあらい、うがい、しょうどくをすすんでしている

A 84名 B 5名 C 3名 D 0名

- 園生活の中で、一人ひとりが意識して、習慣的に行えるようになってきました。
職員も、子どもたちがより安全で、安心していきいきと生活できる環境を整えることに、惜しみない努力を更にしていきます。

NO. 15 きゅうしょくは、にがてなものががんばってたべられるようになってきた

A 88名 B 3名 C 1名 D 0名

- 日々残食が減っていることを実感しています。これからも五感で楽しめる給食、また、全員が喜んで食べられるような給食を栄養士、調理員とも話し合いながら献立をたて提供を行っていきます。

